宮古西原方言の語彙(2)

NAKAMA, Mitsunari / 名嘉真, 三成

(出版者 / Publisher)

法政大学沖縄文化研究所

(雑誌名 / Journal or Publication Title)

琉球の方言

(巻 / Volume)

14

(開始ページ / Start Page)

1

(終了ページ / End Page)

31

(発行年 / Year)

1990-03-08

(URL)

<https://doi.org/10.15002/00012634>

宮古西原方言の語彙(II)

A Study of Vocabulary on
Nishihara Dialect in Miyako
Is. (I)

名嘉真 三 成

か

かー ka: [名] ①皮。皮膚。ていーぬ〜 (手の皮) きーぬ〜ゆ ひじい (木の皮を剥ぐ)。

②革。〜ばんどう (革バンド) 〜じゃんばー (革ジャンパー)。

ーかーka [接尾] 副詞をつくる。にーか (遅く) シャーか (朝早く)

ーかーka [接尾] 日を数える助数詞。ひとつい (一日) ふうちいか (二日) みーか (三日) ゆーか (四日) いちいか (五日) むいか (六日) なぬか (七日) くくぬか (九日) とっか (十日)。

かー ka: (擬声) 喉にものがひっかかったり吐き出す時に発する声。㊦かーていー はきいだし (かーっと吐き出す)。

がー ga: [助] 格助詞。①体言および体言に準ずる語につき、次の体言を修飾する。いわゆる連体格助詞。代名詞、人名、親族呼称、数詞につく。ばんていがやー (我々の家) かがいがっふぁ (彼の子) しゅーがなー (おじいさんの名) みーちいがすじゃ (三つの年上) はーまりふーすがたま (早く来る者の分だ)。②主格を表わす。代名詞、人名、親族呼称につく。ばが かふう (ぼくが書く) かまどうが なふう (カマドが泣く) んまが うきい (お母さんが起きる)。③動詞の連用形および助動詞のいい (受身) しい・しいみい (使役) の連用形について、目的を表わす。とっいが いちい (取りに行く) かかしいが いちい (書かせに行く)。

が ga [助] か。疑問の意を表わす終助詞。㊦かりゃー たるが (彼は誰か) くりゃーなうが (これは何か)。

が ga: [名] 我。①根気 根性。②自分の意見を言い張ること。がーじゅー (我が強いこと) がーはりゃ (意地っ張り) がーゆーかん (忍耐が弱い)。

が ga: (動) 蛾。蝶に似た昆虫で、主に夜に活動する。㊦〜ぬ とっう (蛾が飛ぶ)。

が ga: (擬声) かあかあ。鳥の鳴き声を表わす。㊦がらさぬ 〜ていー なふう (鳥がかあかあ鳴く)。

がーい ga:i [動] ①着かざる。㊦がーりー まちいんかい いふう (着かざって街へ行く)。

②自己主張をし、大声で挑んだりする。㊦まーぬ がーりー あいな（あまり自己主張して言うな）。

かーがー ga:ga: (擬声) かあかあ。①鳥の鳴き声。②蛙の鳴き声。㊦かーっふうなため ～ ていー なちい（殿様蛙がゲロゲロ鳴く）。

かーい ka:i [動] 変わる。替わる。ある物から他の物へ姿が移行する。㊦ゆーぬ ～（世が変わる）。

かーぎ ka:gi [名] 影。容貌。容量。じゃう ～（いい容貌）

かーぐちい ka:gutsi [名] 革靴。革製の靴。

かーかばん ka:kaban [名] 革鞆。革で作った鞆。

かーさば ka:saba [名] 革草履。革製の草履。普断はあだんばさば（阿旦の葉で作った草履）を履いた。

かーしい ka:si [名] 菓子。

かーしいやー ka:sija: [名] 菓子屋。菓子を作ったり売ったりする所。

かーすくう ka:suku: [名] 革帯。かーばんどうとも言う。

がーじゅー ga:dzu: [名] 強情で意地っ張り。きかん気の者。がーじゅーむぬとも言う。

かーじゅーかん ga:dzu:kan [形] 我が強い。自分の主張を強く言って妥協しない状態。

㊦がーじゅーかいびとー しいかいん（私の強い人は好かれぬ）。

かーちい ka:tsi [動] 飢える。喉がかわく。ぬどろがーちい（喉がかわくこと）。衣類がかわくことにはかーらちいと言う。

かーちいびとろ ka:tsi bitu [名] 飢えている者。むぬーふぁーん ～（ご飯を食べない飢えている者）。

かーばた ka:bata [名] 川端。家号の一つ。

かーばたさなじい ka:batasanadzi (動) くらげ。かさ状で、海中に浮かぶ下等動物。

かーっふうなた ka:ffunata (動) カエルの一種。

かーばや ka:paja [名] 凧の一種。三角凧。

かーらじいみや ka:radzi mja (動) 蟬の一種。あぶら蟬。

かーらちい ka:ratsi [動] かわく。衣類がかわく。㊦ちいぬ ～（着物がかわく）

かーな ga:na (動) あひる。飼い鳥で、マガモの変種。今はほとんど見られない。

かーはい ga:hai [名] 我張り。我を張ること。㊦～や たみんな ならん（我を張るのはためにならない）。

かーはいびとろ ga:haibitu [名] 我を張る人。我を張る者。

かーばい ka:pai [名] 皮張り。鼻水などが硬く顔にへばりつくこと。

かーばい ka:pai [動] 皮張る。鍋などの底にかすが張りついてくっつく。

かーばんどうろ ka:bandu [名] 新革バンド。革製のバンド。かーすくいととも言う。昔は着

物の上から革バンドをする人も居た。

がーはりゃ ga:harja [名] 我を張る者。意地っ張り。

かーぶー ka:bu: [名] 革紐。革製の紐。

かーら ka:ra [名] 瓦。赤土を固めてかまで焼いたもので、屋根をふくの用に用いる。

うーがーら (雄瓦) みーがーら (雌瓦)。

がーら ga:ra [名] 水の流れている小さな川。

かーらやー ka:raja: [名] 瓦家。屋根を瓦でふいた家。

かい kai [名] (新) 貝。水中に住む軟体動物。普通 んーな と言う。

かい kai [代] あれ。彼。指示代名詞。遠称および三人称代名詞に用いられる。㊦～ぬ
あっさひー あしい (ああいう風に為る)。～が あいや あたらん (彼の言うのは間違いだ)。

かい kai [動] 借る。借りる。相手のものをしばらくの間使わせて貰う。㊦ひとぬむぬ
～ (人の物を借りる)。

ーかい -kai [接尾] 階。家の階段を数える語。いっかい (一階) にかい (二階) さんかい (三階)。

ーかい -kai [接尾] 回。回数を数える語。いっかい (一回) にかい (二回) さんかい (三回)。

がい gai [名] 害。ものの存立を危うくするような悪い影響。㊦～ゆ あたいい (害を与える)。

かいいいあいいい kaiaiaiai [連語] ああ言ったりこう言ったり。

かいいい kiai [動] 転ぶ。㊦っさー きりー ～ (つまづいて転ぶ)。

かいく kaiku (動) 蚕。カイコガの幼虫。白色・俵形の繭を作る。

かいくん kaikun [名] 開墾。新たに山林などを切り開いて田畑にすること。

かいしい kaisi [動] ①返す。もとの場所やもとの状態に戻す。②ひっくり返す。㊦いっす～石をひっくり返す)。

かいしい kaisi [名] ①お返し。②台風の吹き返し。㊦かでいふうちいんな ～ぬ どううとるしいかい (台風には吹き返しを恐い)。

かいしいかでい kaisikadi [名] 吹き返す風。

かいしいがいしい kaisigaisi [副] 繰り返し繰り返し。反復して物事を行なう。

かいしゃ kaisja [名] ①会社。事業をすることを共同の目的として作られた社団法人。

②屋号の一つ。昔阿旦の葉の草履を作っていた家。

かいた kaita [代] あられ。彼ら。遠称および三人称代名詞かいの複数形。

かいな kaina [名] 腕。肩から先の細長い部分全体のこと。うでいとも言う。

かいびとゝ kaibitu [名] 借り手。借りる人。相手のものをしばらくの間使わせて貰う人。

- かいむね kaimunu [名] 借り物。相手からしばらくの間使わせて貰うもの。
- かう kau [名] 線香。火をつけ、立てて仏前に供える細長いもの。
- かう kau [動] 買う。代金を払って自分のものとする。㊦しいなむぬー ～ (品物を買う)。
- かう kau [動] ①被る。ぴったりとおおうようにする。㊦ぼーしゅー ～ (帽子を被る)。
②被害をこうむる。㊦ふうさいゆ ～ (負債をこうむる)。
③他の動詞と複合して、多く生ずる意を表わす。ばらいかう (笑いこける) なりかっぶいー (実がたくさん成る)。
- かう kau [動] 嗅ぐ。匂いをする。
- かうか・kauka [名] 餓鬼。食いしん坊。何でもむやみに食べる人。
- かうかん kaukan [形] 痒い。皮膚がむずむずして搔きたくなる状態。㊦はじいぬー ～ (足が痒い)。
- かうさ kausa [名] 親のない子。みなし子。
- かうさっぶあ kausavva [名] 親のない子。
- かうしい kausi [名] 頭にものを載せて運ぶ時に下敷にするとぐるのようには巻いたわら。
- かうびとう kaubitu [名] 買う人。買い手。
- かうやく kaujaku [名] 膏薬。膏でねった外用薬剤。あんまかうやくとも言う。
- がうら gaura (植) 苦瓜。ツルレイシ。
- かうる kauru [名] 香炉。香をたくための器。
- かかい kakai [動] ①掛かる。ひっ掛かる。②寄りかかる。③要する。㊦とっかまい ～ (十日も要する)。
④医者に診察してもらう。⑤巫女に占ってもらう。⑥触れる。さわる。㊦くるまんかい ～ な (車に触れるな)。
- かかしい kakasi [名] かかし。竹やわらなどで人間の形を造り、田畑に立てて鳥や獣の近寄るのを防ぐもの。
- かかみちい・kakamitsi [動] そわそわする。落ちつきがなく、絶えず動き回る動作。
- かがん kagan [名] 鏡。容姿や物の像などをうつし見る道具。
- かがん kagan [動] (新) 屈む。上体を折り曲げる。普通うすんと言う。
- かがんばい kagambai [名] 鏡張り。
- かき kaki [名] ①賭。勝負事に金品などを出し、勝った方が取ること。②指切り。約束。
㊦かきゅー あしい (指切りをする)。
- かぎ kagi [名] 影。影法師。光によってその物のほかにできる物の姿。
- かぎ gaki [名] 崖。山や岸などがけわしくそばだった場所。
- かぎかん kagikan [形] 美しい。美的でいい感じを与える状態。
- かぎぐい・kagigui [名] 美しい声。
- かぎじいん kagidziin [名] 美しい着物。㊦～ぬー ちいい (美しい着物を着る)。
- かぎにしゃい kaginifai [名] 美しい青年。立派な青年。

- かぎみどうん *kaqidun* [名] 美しい女。美女。容姿のいい女。
- かぎやー *kaqija*: [名] きれいな家。立派な家。
- かぎん *kaqin* [名] (新) 加減。加わることと減ること。
- かぎんちい *kaqintsi* [名] 立派な道。汚れのない道。
- かく *kaku* [名] 角。四角。かどのあるもの。
- かく *gaku* [名] (新) 額。室内などに掲げておくもの。
- かぐ *kagu* [名] 駕籠。乗物の一つ。人を乗せて前後からかいて行く乗物。
- かぐ *kagu* [名] 籠。竹や藁などで編んだ入れ物。
- かくい *kaqai* [名] 囲い。囲うこと。囲うもの。
- かくう *kaquu* [動] 囲う。中にとじ込めて周囲をふさぐ。
- かくかく *gakugaku* (擬態) かくかく。関節がはずれそうに震えるさま。
- かぐかたみゃ *kaqukatamja* [名] 駕籠かき。駕籠をかついで客を運ぶ人。
- かくしゃ *gakufa* [名] (新) 学者。学問を研究し、学問に優れた人。
- かぐちゅっふぁ *kaqutjuffa* [名] 籠を作る人。
- かくどうーい *kaqudu:i* [名] 角灯籠。角灯。
- かくばら *kaqubara* [名] 角柱。四角の柱。
- かぐむちゃ *kaqumutja* [名] 駕籠持ち。駕籠かき。
- かくむん *gakumuŋ* [名] (新) 学問。科学や哲学などの総称。
- かくむんやー *gakumuŋja*: [名] 学問屋。屋号の一つ。
- かくん *kaquŋ* [動] ① 囲む。回りを取り巻いて出られないようにする。㊦ あんひー かーくみー いうー とぅい (網で囲んで魚をとる)。② 足でしっかりとささえるようにする。㊦ めーまん めーいとぅきゃーんな はじいひー どう ~ (馬に乗る時には足でしっかりとささえる)。
- かくんがくん *kaquŋakuŋ* (擬態) かくんがくん。びっこを引くさま。
- かさ *kasa* [名] 瘡。皮膚にできるおでき・腫物の総称。㊦ ~ぬ いでいい (瘡が出る)。
- かさ *kasa* [名] 笠。頭に被るもの。傘にはさなと言う。② 暈。太陽や月の回りに見えるドーナツ形の光のこと。
- かさがさ *gasagasa* (擬声) がさがさ。① 紙屑や枯葉の触れ合う音。② ねずみが天井の板などをかき立てる音。
- かさない *kasanoi* [動] 重なる。物の上に他の物が乗り加わる。
- ーかさな *-kasani* [接尾] 物を積み重ねた数をあらわす助数詞。ひとつ~ (一重ね) ふうた~ (二重ね) み~ (三重ね)。
- かさな *kasanii* [動] 重ねる。何か物の上にさらに物を乗せ加える。
- かさがさに *kasaniqasani* [副] かさねがさね。たびたび。物事が反復して行なわれる状

態。

かさましいかん kasamasikan [形] かしましい。やかましい。うるさい。

がさみ gasami (動) がさみ。わたり蟹。

かじゃ kadza [名] 匂い。鼻に感じられる刺激。㊦～う かん (匂いを嗅ぐ)。

かじゃあしい kadzaasi [動] 匂いをする。匂いを嗅ぐ。

かじゃい kadzai [名] 飾り。飾り物。

かじゃい kadzai [動] 飾る。きれいに見せるため飾り物を効果的に配置する。

かじゃいむぬ kadzaimunu [名] 飾り物。

かじゃん gadzan [名] 蚊。夏に出る小形の昆虫で、雌は人畜の血を吸う。

がし gafi [名] (新) 餓死。飢え死に。

かしー kafi: [名] 加勢。援助。一緒になって助けること。～あしい (加勢する)。

がじまる gadzimiru (植) がじゅまる。榕樹。

かしい kasi [名] 粕。残り物。

かしいがい kasigai [名] かすがい。木材のつなぎ目をつなぐコの字形の金物。

かじゃいかびー kadzaikabi: [名] 飾り紙。赤や黄色で、正月や祝いの時仏壇に供える紙。

かじい kadzi [名] 舵。船の方向を変える装置。

がじい gadzi [名] けち。必要以上にお金や物を惜しむこと、またその人。

がじい gadzi [名] 自在鉤。つるし鉤。天井からつるして物を掛ける鉤。

かじいちい kadzitsi [名] うに。海にすむ球形の棘皮動物。

かじいん kadziŋ [動] 積みあげる。

かた kata [名] 肩。腕のつけ根の上側。かたむしいとも言う。

かた kata [名] ①形。型。②絵。㊦～う かふう (絵を描く)。

ーかた -kata [接尾] 動詞の連用形につき、しかたやりようの意味を表わす。あしい～
(仕方)、ゆん～(読み方) かちい～(書き方)。

かた kata (動) ばった。草むらにすむ後ろの一对の足が長い昆虫。

かたー kataー [接頭] 片。合わせて完全になるものの一方。かたみー (片目) かたうゃ
(片親)。

かたー -gata [接尾] 動詞の連用形について、やがて～しそうであるとの意味を表わす。

㊦んみゃ ひっちゃひー かちい～ (もう少しで書きそうだ)。

かたい katai [動] 語る。話し合う。㊦んきゃーんばなっす ～ (昔話を語る)。

かたか kataka [名] 覆うようにすること、またその物。

がたがた gatagata (擬態) がたがた ①ものがしっくり合わないさま。②身が震えるさま。

かたかっさ katakassa [名] ちょんまげ。

かたかん katakan [形] 濃い。中に含まれている何かの成分が多い。固い意味には用いない。

かたちゃー（濃いお茶） かたんっすー（濃いお汁）。

かたき *kataki* [名] 仇。敵。機会があれば滅ぼそうと思っている相手。

かたきうちい *katakiutsi* [名] 敵討ち。相手に仕返しをすること。

かたじい *katadzi* [名] 固唾緊張して息をこらしている時に口に出る唾。㊦かたっじゅぬん（固唾を飲む）。

かたじいきい *katadzikii* [動] 片付ける。雑然としていたものを整うように直す。㊦ちばんぬ ～（湯呑みを片付ける）。

かたちい *katatsi* [名] 形。外見に現れた姿。かっこうのこと。

かたな *katana* [名] ①刀。片刃の刃物。②包丁。料理をする刃物。

かたば *katapa* [名] ①片刃。②片わ者。③いやな奴。

かたばいあら *katapaizara* [名] 鎌の一種。厚さが薄い鎌。

かたみ *katami* [名] 形見。①男女の契りの印にとりかわすもの。②死んだ人・別れた人の思い出となるもの。

がたみかしい *gatamikasi* [動] がたがたゆるがす。㊦やどろー ～（戸をがたがたゆるがす）。

かたむしい *katamusii* [名] 肩。かたとも言う。

かたん *katanj* [動] 担ぐ。肩に掛けてになる。㊦にーゆ ～（荷を担ぐ）。うまく担がれたのような表現はない。

ーかたん *-katanj* [接尾] 担ぐ荷を数える助数詞。ひとつかたん（一担ぎ） ふたかたん（二担ぎ）。

がちい *gatsi* [名] 餓鬼。飢えとかわきに苦しむ人。がちいまゆとも言う。

ーがちい *-gatsi* [接尾] 月。月の順序を数える助数詞。いちがちい（一月） 二がちい（二月） さんがちい（三月） しがちい（四月） ぐがちい（五月）。

かちかち *katfikatji* (擬声) かちかち。時計の針の音。

がちがち *gatfigatji* (擬声) がちがち。かちかち。寒さに震えて歯を鳴らす音。はーがちがち（歯をかみ鳴らすこと）。

かちい *katsi* [名] 勝ち。勝つこと。勝利。

かちい *katsi* [動] 勝つ。実力に差があり、それ以上勝負することを断念させる。

かちいいふうさ *katsiifusa* [名] 勝ち戦。

かちいじいま *katsidzima* [名] 勝ち相撲。

がちいな *gatsina* [助] 活用語の連用形について、～しながら～でありながらの意を表わす。

かちいまき *katsimaki* [名] 勝ち負け。

がちいまゆ *gatsimaju* [名] 餓鬼猫。①飢鬼猫。食欲な猫。②食いしん坊。

かちいみくん *katsimikun* [名] 勝ち見込み。勝ち目。㊦～な にゃーん（勝ち目はない）。

かちいん katsij [動] 握かむ。手の指で離さないように強く持つ。㊦ていーひー いんび
 っちゅ ～ (手で鉛筆を握む)。

かちいん gatsij (動) 鰻。背中は青く腹は銀色の魚。

かっこー kakko: [名] 格好。ようす。なりふり。㊦～ゆ ちいきい (格好をつける)。

がっこー gakko: [名] 学校。教師が組織的にそれぞれの目的に応じた教育を行なう所。

がっこーあいちい gakko:aitsi [名] 学校へ通うこと。通学。

かってい katti [名] 勝手。気まま。人の迷惑を考えないで自分がしたいようにふるまうこと。

かっていなむぬ kattinamunu [連語] 勝手な者。気ままな人。自分の都合のみでしたいようにふるまう者。

がっていん gattij [名] 合点。承諾。自分で確めて同意すること。

かっぱ kappa [名] のりつけなどをしてがばがばに乾くこと。～ない (のりつけなどしてがばがばになる)。

かっぴ kappi [副] あれだけ。物の数量や大きさなどがかなりのものであることを表わす。

かでい kadi [名] 風。空気が様々に動く現象。㊦～ぬ ふうちい (風が吹く)。

かでいふうちい kadifutsi [名] 台風。夏から秋にかけて中国や日本を襲う熱帯低気圧。雨と風が激しい。

かでいまーい kadima:i [名] 風の方向が変わること。

かでいまーりゃ kadima:rja [名] 風車。風の力で回るように作ったおもちゃ。

かどう kadu [名] ①角。②物の隅になった所。③道路の曲り目の場所。

がちゃがちゃ gatſagatſa (擬声) がちゃがちゃ、金属性の物がぶつかり合う時の音。

がちゃみかしい gatſamikasi [動] がちゃがちゃさせる。金属性のものや陶器類をがちゃがちゃ合わせる。

かちゅー katſu: (動) ①かつお。肉の赤黒い中形 of 海産魚。②かつお節。かつおの身を煮て干したもので、削って味つけに使ったりする。

かちゅーいう katſu:izu (動) かつお。

かちゅーしん katſu:ſij [名] かつお漁船。6月から8月にかけて南洋でかつお漁する船。

かちゅーだしい katſu:dasi [名] かつおだし。かつおのだし汁。

かちゅーぶしい katſu:busi [名] かつお節。主にだしを取るのに用いる。

かないびとら kanaibitu [名] 勤勉な人。よく働く人。㊦っぶぁが っふぁー ～ (君の子は勤勉だ)。

かなう kanau [動] ①かなう。㊦にがいぬ ～ (願いがかなう)。②よく働く。勤勉である。㊦ゆー ～ (よく働く)。

ーかなしい -ganasi [接尾] かなしい。様。尊いといしいの意となる。ていん～ (天道様)。

かん～（神様） たうとぅ～（お尊）。

かなまい kanamai [名] 頭。動物の脳や目・鼻・口などのある部分。かんまいとも言う。

かなまいやん kanamaijan [名] 頭痛。㊦～な くーかん（頭痛は苦しい）。

かなみ kanami [名] かなめ。要点。重要な点。

かならじい kanaradzi [副] 必ず。確かに。間違いなく。きっと。㊦～ くーよー（必ず来いよ）。

かに kani [名] ①鉄。金属。②童名の一つ。男性に用いる。

かにあん kaniaŋ [名] 金網。鉄線でできた網。

かにい kanii [名] 兼ねる。二つ以上のものを並行して行なう。

ーかにいーkanii [接尾] 動詞の連用形について、～しかねることを表わす。㊦かちい～（書きかねる）。

かにてい kaniti [副] ①かねて。②普段。③あらかじめ。

かにふうじい kanifudzi [名] 釘。金属でできた釘。㊦かにふうっじゅ うちい（釘を打つ）。

かぬ kanu [連体] あの。話し手、相手から遠く離れている物事をさす。㊦～ひとぅーゆらび（あの人を呼べ）。

かぬきゃ kanukja [代] 彼ら、三人称の複数形。人称のみに用いる。㊦～がやーんかいいふう（彼らの家に行く）。

かぬしいくなー kanusikuna: [連語] あれだけ。㊦～あいていがー ちいちい どうしい（あれだけ言ったら言うことを聞く）。

かなしいく kanusiku [連語] あれくらい。あれほどの量・程度。

かなしいくぬ kanusikunu [連語] あれだけの。～ひとぅ（あれだけの人）。

かなじいぶん kanudzibuŋ [連語] あの頃。㊦～な じゃうとー どう あたい（あの頃はよかった）。

かぬひとぅ kanuçitu [連語] あの人。㊦～ぬ どう ばが ーいあ（あの人がぼくの父だ）。

かぬひゃー kanuça: [連語] あいつ。あの野郎。

かぬまま kanumama [副] あのまま。㊦～ん ひー うき（あのままにしておけ）。

がばーかん gaba:kan [形] 大きい。容積・長さなどが多く場所をしめている状態。㊦ふどぅぬ ～（身長が大きい）。

がばーじいー gaba:dzi [名] 大きな字。㊦～ひー かちい（大きな字で書く）。

がばかん gabakan [形] ふけている状態。

がばぬーま gabanu:ma [名] ふけている馬。

がばひとぅ gababitu [名] ふけている人。

かばしいかん kabasikan [形] 芳しい。よい感じを与える匂いの状態。㊦くぬ あっぶぁー

～（この油は芳しい）。

かばかば kapakapa（擬態）こちこち。のり付けされた衣類の固くなったさま。

かばがば gapagapa（擬声）ごんごん。げんこつをする時の音。㊦まーまう ～ふぁー
しい（げんこつをごつんごつんとくわえる）。

かばみかしい gapamikasi [動] げんこつで頭をごつんとたたく。

かびー kabi: [名] 紙。㊦かびとぅいや ～ひー どう ちゅふうう（凧は紙で作る）。

かびとぅい kabitui [名] 凧。糸をつけて風力で空に揚げる玩具。

かふー kaΦu: [名] 果報。幸せ。

かぶ kabu [名]（新）株。株式。株券。

かぶ kabu [名] 蕉。かぶら。

かぶ gabu [名] 洞。洞穴。

かぶい kapui [動] 堀る。㊦んーぬ ～（芋を堀る）。

かぶだし kabudasi [名] 砂糖黍などを株から芽を出させて生やすこと。

かぶとう kabutu [名] 兜。頭部を保護する戦国時代のかぶりもの。

かふーな kaΦu:na [連体] 果報な。幸運な。幸せな。かふーなむぬ（幸せな者）。

かま kama [名] 童名の一つ。男性に用いる。

かま kama [代] あそこ。遠称の指示語。㊦～んかい ていっぶい（あそこへ投げなさい）。

ーがま -gama [接尾] 愛称辞。っふぁ～（子供の愛称。いとし子）。

かまい kamai [動] あきる。物事に対する欲求が度を越して満たされる。㊦あすーくとう
ん ～（遊ぶことにあきる）。

かまい kamai [名] ①構え。家などをつくる時の構え。②闘おうとする時の姿勢。

かまいい kamaii [動] 構える。①組み立ててつくる。②姿勢などを定める。

かまかた kamakata [連語] あちら側。㊦～んかい いき（あちら側に行け）。

かまくま kamakuma [連語] あちこち。㊦～う みい（あちこちを見る）。

かまさーいくまさーい kamasa:ikumasa:i [連語] あちらさわりこちらさわり、㊦～あしい
（あちらさわりこちらさわりする）。

かましい kamasi [動] ①くらす、食べさせる。㊦むぬー ～（ご飯を食べさせる）。

②車の足止めにする。㊦くるまんかい いっす ～（車に石をあて足止めにする）。

かまた kamata [代] あそこ辺り。㊦～ん どう うい（あそこ辺りに居る）。

かまちい kamatsi [名] ①頬。②頬の大きい人。

かまないくまない kamaaikumanai [連語] あちらへ移ったりこちらへ移ったり。㊦～
あしい（あちらへ移ったりこちらへ移ったりする）。

かまなぎ kamanagi [連語] あの近辺。あの辺り。㊦～ん あすう（あの辺りで遊ぶ）。

かまなでいくまなでい kamanadikumanadi [連語] あちら撫でこちら撫で。

かまみーくまみー kamami:kumami: [連語] あちらを見たりこちらを見たり。

かみ kami [名] 甕。液体などを入れる底の深い陶器。さきがみ(酒を入れる甕) んすがみ(味噌を入れる甕)。

かみ kami [名] 亀。爬虫類カメ目の動物。いんがみとも言う。

かみ kami [名] 童名の一つ。女性に用いる。

がみ gami [助] まで。副助詞。㊦がっこー～ あいちい(学校まで歩く)。

かみすい kamisui [名] かみそり。髭などを剃るのに用いる鋭利な刃物。㊦～ひー ひぎゅー すい(かみそりで髭を剃る)。

かみくるしい kamikurusī [動] かみ殺す。

かむ kamu [名] 鴨。雁鴨目の小形の鳥。

かや kaja [名] 茅。スゲ・ススキなどイネ科科草木のこと。屋根を葺く時に用いる。

かややー kajaja: [名] 屋根を茅で葺いた家。夏は涼しくてしのぎよい。

がや gaja [助] だろうか。かしら。疑問を表わす終助詞。疑問の「か」に間投助詞「や」が複合したもの。

がやがや gajagaja (擬声) がやがや。騒がしい時の音。

かゆう kajuu [動] 通う。二つの隔たった所を何度となく交流する。㊦がっこーんかい～(学校へ通う)。

から kara [名] 殻。ぶーじい～(黍がら) しいでい～(孵化したから)。

から kara [助] から。格助詞。①場所を示す語について出発点や通過する径路を表わす。②時を示す語についき、それ以後のことを示す。㊦さんじ～ はじまい(三時から始まる)。③手段を表わす。㊦ばしい～ ふうう(バスから来る)。

がら gara [助詞] かしら。だか。疑問を表わす。㊦なう～ かい かう(何やら買って来い)。

ーから -gara [接尾] 柄。その持つ性質や特徴を表わす。やー～(家柄) ひとつ～(人柄)。

からから karakara (擬声) からから。罐などがころがる時の音。

がらがら garagara (擬声) がらがら。鉄製の馬車の車などがころがる時の音。

がらさ garasa (動) 鳥。黒い光沢があり多くは人家のある所にすむ鳥。

がらさない garasanai [名] けいれん。筋肉が病的に収縮すること。

がらしい garasī [名] ガラス。高温で熔融した物質を急冷した透明の無定形物質。

からしい karasī [動] 貸す。自分の持物を一時的に他人の物とする。㊦でいんぬ ひとつんかい～(金を人に貸す)。

がらしいばい garasibai [名] ガラス張り。

- がらしばう garasibau [名] 蛇の一種。茶色で小形の無毒蛇。
- からしいびとら karasibitu [名] 貸す人。
- からた karata [名] 体。身体。頭から足までをまとめて言う。じゃう～(いい体)。
- からてい karati [名] 空手
- からみい karamii [動] からめる。しばる。くくる。
- がらみかしい garamikasi [動] 下駄などをからからと音をたてる。
- からみとらい karamitui [動] からめ捕る。
- がりがり garigari (擬声) かりかり。がりがり。軟骨などをかじる音。
- かりきり karikiri [名] (新) 借り切り。
- かりゆし karijufi [名] 嘉例吉。縁起がよいこと。めでたいこと。
- かるかん karukan [形] 軽い。目方が少ない。軽快である。㊦んぶさー ～(重さは軽い)。
がるかんとも言う。
- がるかん garukan [形] 軽い。重くない。
- かるわじゃ karuwadza [名] 軽業。危険な曲芸を身軽に演じたりすること。
- かわい kawai [名] かわり。代理。交替。
- かわい kawai [動] ①交替する。代わる。②代理する。③変化する。変る。④違う。異なる。㊦かいとら くいとらや ～(あれとこれとは異なる)。
- かわいがわい kawaigawai [副] かわるがわる。互いに代り合って。順番に。
- かわいむぬ kawaimunu [名] 変わり者。他人と考え方や行いが違っている人。
- かん kan [名] 神。人間を超越した威力のある者。うかまがん(火の神) しーとらがん(学問の神)などが居る。㊦～ぬ うがん(神を拝む)。
- かん・kan [名] 勘。考え。感じ。㊦～ぬ にゃーん んまり(勘のない者)。
- かん・kan (動) 蟹。甲殻類十脚目短尾亜目の節足動物の一群。かんぬくー(蟹の甲羅)。
- かん kan [動] 噛む。食べる。㊦むぬー ～(ご飯を食べる)。
- かん kan (擬声) かん。堅いものをたたく時の音。
- ーかん -kan [接尾] 貫。銭を数える単位。二銭は一貫。
- がん gan [名] 願。祈願。こうありたいと思いを神にたのむこと。
- がん gan [名] 龕。亡くなった人を入れる棺。
- かんがい kangai [名] ①考え。②動詞の連用形について～のつもりの意を表わす。㊦きゅーや うまん うい～(今日はここに居るつもりだ)。
- かんがいい kangaii [動] ①考える。思索する。②世話する。面倒をみる。
- かんがいかた kangaikata [名] 考え方。考える方法。
- かんがいじゅーかん kangaidzu:kan [形] 考え上手である。考えるのがたくみである。考え強い。

- かんがいちがい kangaitfigai [名] 考え違い。考えを誤まること。
- かんがいぶすく kangaibusuku [名] 考え不足。思慮が足りないこと。
- かんがかい kangakai [名] 神がかり。神が乗りうつること。
- かんかかりゃ kanḡakarja [名] 巫女。占いをする人。神のおつげをする人。
- かんから kanḡara [名] かん詰の空かん。
- かんからさんしん kanḡarasanḡin [名] 空かんで作った三味線。
- かんかん kanḡan (擬声) かんかん。堅いものをたたく時の音。
- がんがん ganḡan (擬態) がんがん。頭などがひどく痛むさま。
- がんがん ganḡan (擬声) がんがん。鐘を打つ時の音。
- かんぎ kangi [名] ①とさか。②馬のたてがみ。
- かんきり kanḡkiri [名] 鬼を決め、空かんに蹴って鬼が相手を見つける遊び。
- がんく ganḡku [名] 頑固。自分の考えをなかなか曲げない人。
- かんぐく kanguku [名] 監獄。刑務所。
- がんきょー ganḡkjo: [名] 眼鏡。めがね。
- かんじいみ kandzimi [名] かん詰め。
- がんす gansu [名] ①元租。②位牌。
- がんすうがん gansuugan [名] 元租を拝むこと。
- がんじゅー gandzu: [名] 頑丈。元気。強い人。強健なこと。
- がんじゅーかん gandzu:kan [形] 丈夫である。元気である。㊦どろーぬ ～ (体が丈夫である)。
- がんじゅーらしい gandzu:rasi [動] 丈夫にする。頑丈にする。強くする。
- かんじょー kandzo: [名] 勘定。金銭の出納や物の数量の計算。
- がんだーう ganda:u [名] 龜道具。葬式の時棺を入れて墓まで運ぶもの。
- かんな kantana [名] 神棚。仏壇。
- かんちがい kantfigai [名] ①考え違い。②誤解。
- かんびん kambin [名] (新) 水差し。
- かんとく kantuku [名] 監督。
- かんな kanna [名] かんな。大工道具の一種。鉋。
- かんない kannai [名] 雷。雲と雲との間などに生じる放電現象。
- かんなくじい kannakudzi [名] 鉋から出るくず。
- かんにがい kannigai [名] 神願い。祈願。神様にお祈りをする事。またその祭りごと。
- かんぬん kannun [名] (新) 観音。
- かんふとうき kanḡutuki [名] 神仏。神様を総称した呼び方。
- がんむちゃ gammutja [名] 龜をかつぐ者。

かんびょう kambjo [名] (新) 看病。病人を介抱すること。

かんびょー kampjo: [名] 干瓢。ユウガオの果実の中を細く長く裂いて乾燥させた食べ物。

かんまい kammai [名] 頭。かなまいとも言う。

がんみかしい gammikasi [動] 堅いものをがんがんとたく。㊦やどろー ～ (戸をがんがんとたく)。

かんむい kammui [動] 噛みくだく。噛みつく。㊦んーぬ ～ (芋を噛みくだく)。

がんやー ganja: [名] 龕を置く小屋。昔、村のはずれにあった。

かんる kanru [名] 寒露。二十四節の一つ。太陽暦の十月八日頃に当る。

き

きー ki: [名] ①毛。哺乳動物の皮膚に生えているもの。②(髪の毛)毛。からじいぬきー (髪の毛)。③羽毛。とぅいぬきー (鳥の羽毛)。っすぎ (白髪) あかぎー (赤毛) っふうぎ (陰毛) はなぎ (鼻毛) はにぎー (羽毛)。

きー ki: [名] ①木。樹木。②木材。きーうしい (木臼) きーふうじい (木釘) きーはじい (竹馬) きーまっふぁ (木の枕) きーかしい (おがくず)。

ーきー -ki: [接尾] 木。～き ～ぎ ～ぎーのように「木」をつける時の接尾辞。かしいぎー (檜) しいぎぎー (杉) しんだんぎー (梅檀) あだんぎー (阿旦) まちいぎー (松) あかうぎー (あこうの木)。

きー ki: (擬声) 陶器や金属性のもののきしる音。

ぎー gi: [名] びり。しんがり。ぎーったとも言う。

ぎーういびとぅ ki:uibitu [名] 毛深い人。

きーうしい ki:usi [名] 木臼。木でつくった臼。いしいうしい (石臼) の対。

きーかしい ki:kasi [名] おがくず。

きーきー ki:ki: (擬声) きいきいきしる音。

ぎーぎー gi:gi: (擬声) ぎいぎいきしる音。

きーく ki:ku [名] (新) 稽古。練習。㊦きーくー あしい (練習する)。

きーさに ki:sani [名] 木の種。㊦きーさにゅー いびい (木の種を植える)。

きーしっちい ki:sitsi [名] 警察。社会公共の安全と秩序を守る所。

きーじいーぱ ki:dzi:pa [名] 木のかんざし。かにじいーぱ (金属のかんざし) の対。

きーちいきい ki:tsikii [動] (新) 気をつける。注意する。

ぎーった gi:tta [名] びり。しんがり。ぎーとも言う。

きーぬかー ki:nuka: [名] 木の皮。樹皮。㊦～ゆ はじい (樹皮を剥ぐ)。

きーぬかぎ ki:nukagi [名] 木陰。木によって太陽の光をさえぎっている部分。

- きーぬすら ki:nusura [名] 木の先端。梢の先端。枝の末端。
- きーぬない ki:nunai [名] 木の実。果実。
- きーぬにー ki:nuni: [名] 木の根。
- きーぬはー ki:nuha: [名] 木の葉。植物の栄養器官の一つで、呼吸作用や炭酸同化作用を営む部分。
- きーぬはな ki:nuhana [名] 木の天辺。
- きーぬひぎ ki:nuçiqi [名] 木の髭。木の根。
- きーぬまた ki:numata [名] 木の股。
- きーぬみー ki:numi: [名] 木のたくさん生えているその中。
- きーぬゆだ ki:nujuda [名] 木の枝。
- きーはぎ ki:hagi [名] ①毛のはげること。②毛のはげている者。
- きーはぎゃ ki:hagja [名] 毛のはげている人。
- きーはじい ki:hadzi [名] 竹馬。
- きーふうじい ki:fuzi [名] 木の釘。かにふうじい（鉄の釘）の対。
- きーぶとうき ki:butuki [名] 木でつくった仏。木仏。
- きーまっふぁ ki:maffa [名] 木枕。木でできた堅い枕。
- きーむしい ki:musi [名] 毛虫。
- きーむじゃむじゃ ki:mudzamudza [名] 毛が多く生えていること。
- きーむむ ki:mumu (植) 毛桃。実は小さくてかたく表面に毛が多い桃。
- きーもー ki:mo: [名] 毛のはげている者。はーもーは齒の欠けている者。
- きーる ki:ru [名] 黄色。ちいーるとも言う。
- きーるかん ki:rukan [形] 黄色い。ちいーるかんとも言う。
- きい kii [動] 蹴る。足で突きとばす。拒する意味はない。
- きい kii [動] 切る。連結・結合しているものを刃物などで断つ。
- きかい kikai [名] (新) 機械。しかけのある器具。
- きが kiga [名] けが。負傷。思いがけずに傷つくこと。
- きかにん kiganin [名] けが人。思いがけずに傷ついた人。
- ぎかん gikan [助動] ～しそうである。～するらしい。㊦かいが どう ちいー～(彼が書きそうだ)。
- きく kiku [名] (植) 菊。キク科の多年草。きくぬはな(菊の花)。
- きぎゃーしい kigja:si [動] ①荒らす。②かき乱す。㊦やーゆ ～(家をかき乱す)。
- きさ kisa [副] さっき。先刻。㊦～ どう ちいーたい(先刻着いた)。きさがたとも言う。
- きざみたばく kidzamitabaku [名] きざみたばこ。紙でまいてなく刻まれた状態のたばこ。

- きざん kidzaj [動] 刻む。切って細かくする。
- ぎしい gisi [名] 下司。職名的一种。
- きじい kidzi [名] 傷。切ったり打ったりして皮膚を損うこと。
- きじい kidzi [動] かき回す。騒ぐ。㊦まーぬ きじいな (あまり騒ぐな)。
- きじいあとう kidziatu [名] 傷跡。傷がついて治った後、かたちがのこること。
- ぎじいぎやうな gidzigjauna [名] 生意気な者。わんぱく。言うことを聞かない者。
ぎじいぎやうなむぬとも言う。
- ぎじいぎやうなかん gidzigjaunakan [形] わんぱくな。生意気な。言うことを聞かない。
- きじいふうちい kidzifutsi [名] 傷口。傷ついた所。
- ぎしいちい gisitsi [名] すすき。土手・荒地に生えるイネ科の多年草。
- きじゃい kidzai [名] 祝い事。祭り事。
- きじぎし gifigifi (擬声) ぎしぎし。床などがきしむ音。
- ぎしみかしい gifimikasi [動] ぎしぎしさせる。地震や台風などで家屋が揺れ動く音をさせる。
- きすく kisuku [名] 規則。
- きしゃ kija [名] 汽車。
- きちい kitsi [動] 利く。効く。効果がある。㊦っすいぬ ～ (薬が効く)。
- きちいぎかん kitsigikan [形] きれいである。きちいぎちいん (きれいな着物) きちいぎみどろん (きれいな女性)。
- きちいぎちいん kitsigitsin [名] きれいな着物。
- きちいぎみどろん kitsigimidun [名] きれいな女性。
- きちいぎゃー kitsigija: [名] きれいな家。
- きちいぎんちい kitsigintsı [名] きれいな道路。立派な道路。
- きっちい kittsi [動] 削る。少しずつそいで取る。
- きっちい kittsi [動] 梳る。髪をとかす。㊦あかう ～ (髪を梳る)。
- きな kina [名] ご飯やみそ汁などを鍋から椀に注ぐもの。
- きない kinai [名] 家庭。㊦～ゆ むちい (家庭を持つ)。
- きないがら kinaigara [名] 家柄。
- きないだーう kinaida:u [名] 所帯道具。家庭生活を営むための道具。
- きないむちゃ kinaimutja [名] 所帯を持っている者。
- きば kiba [名] 牙。顎にある鋭くとがった歯。
- きばん kibanj [名] 貧乏。お金や物質にめぐまれてないこと。
- きばんかん kibankan [形] 貧乏である。
- きばんむぬ kibamunu [名] 貧乏者。お金や物品のない者。

- きまい kimai [動] 決まる。定まる。動かないようになる。
- きみい kimii [動] 決める。定める。ある物事について動かないようにする。
- きゆみい kijumii [動] 清める。けがれを除く。
- きらしい kirasi [動] 切らす。たくわえをなくする。㊦しなむぬー ～ (品物を切らす)。
- きり kiri [名] 霧。ちいーとも言う。
- きり kiri [名] 錐。加工物に穴をあける道具。
- きり giri [名] 義理。正しい道筋。人の歩むべき道。
- きりい kirii [動] 切れる。息が切れる。㊦いちいぬ ～ (息が切れる)。
- きりかいしい kirikaisi [動] 蹴り返す。
- きりかいらしい kirikairasi [動] 蹴ってひっくり返す。
- きりきざん kirikidzan [動] 切り刻む。こまかに刻む。㊦たまなう ～ (キャベツを切り刻む)。
- きりくるしい kirikurusi [動] ①さかんに蹴る。②蹴り殺す。
- きりくるしい kirikurusi [動] 切り殺す。
- きりしいていい kirisitii [動] 切り捨てる。
- きりたうしい kiritausi [動] 蹴り倒す。蹴って倒す。
- きりとっばしい kiritubasi [動] けとばす。
- きんく kinku [名] 金庫。お金や貴金属などを入れて保管するもの。
- きんさ kinsa [名] 検査。
- きんちやく kintjaku [名] 巾着、財布。お金を入れるもの。
- きんばー kimba: [名] ①金歯。②屋号の一つ。
- きんぴ kimpi [名] 肥料。農作物の栄養分となるもの。
- きんみ kimmi [名] 斤目。目方。
- きゃ kja [助] まで。副助詞。限度を表をす。連体形につく。㊦っふぁふうない～ はたらちい (暗くなるまで働く)。
- ぎゃーぎゃー gja:gja: (擬声) がやがや。がやがや騒ぐさま。大声で騒ぎたてるさま。
- きゃーい kja:i [動] 消える。存在していたものの姿が見えなくなる。
- きゃーぎ kja:gi [名] いぬまき。榎の一種。きゃーぎぎーとも言う。
- きゃーしい kja:si [動] 消す。
- きょうだい kjaudai [名] 兄弟。
- きゅー kju: [名] 今日。きゅーぬゆなか (今日の夜) きゅーぬしいとうむてい (今朝)。
- きゅーい kju:i (植) きゅうり。ウリ科の一年草。
- きゅーかん kju:kan [形] けむい。㊦きゅーしいぬ ～ (煙りがけむい)。

く

- くー ku: [名] 粉。こな。粉末。㊦～ゆ いたきい (粉をこぼす)。くなとも言う。
- くー ku: [名] ①九。しち (七) はち (八) くー (九)。②助数詞につづく。くきん (九斤)。
- くー ku: (昆) 蜘蛛。
- くー ku: [名] 甲。甲ら。亀などの背中をおおっている堅いもの。
- くー ku: [名] 功。とっしいぬくー (年の功)。
- くー ku: [名] 昆布。黒茶色の帯のようになった海藻。食用。正月には床の間に飾る。
- ぐー gu: [名] ①仲間。同僚。ゆぬぐー (同じ仲間)。②二つで組になっているもの。対。
- ぐー gu: [名] 碁。交互に白と黒の石を置き、白石で囲んだ目の数によって勝負を争うゲーム。㊦～ゆ あしい (碁をする)。
- ぐー gu: [名] ①五。五番目の数字。②助数詞につづく。ぐしゅ (五升)。ぐごう (五合)。
- ぐー gu- [接頭] 御。美化語。限られた特殊な語にしか付かない。ぐいん (ご縁) ぐぶりー (ご不礼)。
- ぐーいしい gu:isi [名] 碁石。碁に用いる平たい円形の黒と白の小石。
- ぐーうちゃ gu:utja [名] 碁打ち。碁のうまい人。
- ぐーぐー gu:gu: (擬声) 腹がぐーぐーなるさま。
- くーい ku:i [名] 部屋。
- くーい kuu [動] くつつく。しっかりついて離れないようになる。㊦かびーぬ ～ (紙がくつつく)。
- くーい ku:i [動] 体が堅くなって成長が止まる。
- くーい ku:i [動] 凍る。液体が寒さのため固体になる。
- くーがーしい ku:ga:si [名] 菓子的一种。
- くーかん ku:kan [形] きつい。苦しい。つらい。㊦はいかでゃー ～ (畑を耕やすのはきつい)。
- ぐーぐー gu:gu: (擬声) ぐうぐう。ぐっすり眠るさま。
- くーさ ku:sa [名] 苦しみ。きついこと。㊦くーさー たいらいん (苦しみは耐えられない)。
- くーしい ku:si [動] 越す。石などを投げてある距離を越す。
- くーしい ku:si [動] ①壊す。㊦やーゆ ～ (家を壊す)。②ほじくる。㊦きーぬ にーゆ ～ (木の根をほじくる)。
- くーしいぐとう ku:sigutu [名] きつい仕事。体力を要する仕事。らくしいぐとう (楽な

仕事)の対。

くーす ku:su [名] 唐辛子。実が細長く、初めは緑色で熟すると赤くなる。香辛料として用いる。

くーすふうや ku:sufuja (動) きのぼりとかが。

くーり ku:ri [名] 氷。水が冷えて固まったもの。㊦～ひー ひやしい(氷で冷やす)。

くーりざた ku:ridzata [名] 氷砂糖。砂糖を結晶させて、氷のような体裁にしたもの。

くーりばく ku:ribaku [名] 行李。荷物を入れるのに使うもの。

くーる ku:ru [名] 香炉。香をたく入れ物。

くい kui [名] 声。人や動物が音声器管を使って発する音のこと。㊦～ゆ いだしい(声を出す)。

くい kui [名] (文) 恋。好きで、一緒になりたいと思う気持。

くい kui [名] 杭。地中に打ちこみ、目印や支柱にする木材。㊦～ゆ うちい(杭を打つ)。

くい kui (動) 鯉。池などで観賞用に飼う淡水魚。

くい kui [代] これ。話し手に近い事物を指し示す語。㊦～が どう ましい(これがいい)。

ぐいん guin [名] ご縁。「縁」の美化語。㊦～ぬ あらまい(ご縁があらわれる)。

くう kuu [動] 乞う。何かを相手にしてもらいたいと切に願う。

くがたな kugatana [名] 小刀。ちょっとした工作などに使う小さな刃物。しーぐとも言う。

くがちい kugatsi [名] ①九月。②九ヶ月。

ぐがちい gugatsi [名] ①五月。②五ヶ月。㊦かいが はりーから んみゃ ～ なりー どう うい(彼が行ってからもう五ヶ月なる)。

くがに kugani [名] 黄金。金。

くがにいる kuganiiru [名] 黄金色。金色。

くがにういびがに kuganiuibigani [名] 金の指輪。

くがにじいーば kuganidzi:pa [名] 金のかんざし。

くがりい kugarii [動] 焦れる。自分の思いをとげたいと一途に思い詰める。

ぐかんみー gukammi: [名] 十銭玉の銀貨。

くく kuku [名] 九。むー(六) なな(七) やー(八) くく(九) とぅ(十)と数える時に使う。

くく kuku [名] 石。体積の単位。一斗の十倍。いっくく(一石) にくく(二石) さんくく(三石)。

くぐい kugui [名] 小聲。小さい声。㊦～ひー はなしい(小聲で話す)。

ぐぐーっぐっぐー gugu:gguggu: (擬声) 山鳩の鳴き声。

くくとぅしい kukutusi [名] 九年。

- くくぬちい kukunutsi [名] 九つ。一の九倍。
- ぐくらく gukuraku [名] ①極楽。②極めて楽しいこと。
- くくる kukuru [名] 心。感情・意志・思考などの働きとなるもの。ちいむとも言う。
- くさくにん kusakuniŋ [名] 小作人。
- くさび kusabi [名] (新) 楔。V字形の木片。木や石の割れ目に打ち込んで用いる。㊦くさびゅー うちい (楔を打つ)。
- くさり kusari [名] 鎖。金属性の輪をつなぎ合わせて紐にしたもの。
- くさんみ kusammi [名] 背中。動物の背骨の通っている部分の外側にあたる。
- くしき kufiki [名] (新) 戸籍。その人の氏名・生年月日・家族関係などを登録して公式くしに証明するもの。
- くしいkufi [名] (新) 串。竹串。食物などを刺し通すのに用いる先のとがったもの。
- くしい kusī [動] 瀧す。瀧過する。
- くしい kusī [動] 引っ越す。家を移す。㊦やーゆ ～ (家を引っ越す)。
- くしい kusī [名] 腰。足が胴体とつながった部分で、上半身を前後に折り曲げることのできる後側。
- くじい kudzi [名] くず。くず粉。んーくじい (芋の澱粉)。
- ーぐし -gufi [接尾] ～越し。おき。間をへだてること。ひていちいぐし (一つおき)
いちにんぐし (一年おき) ひとついぐし (一日おき)。
- くじいかい kudzikai [名] 小使。用務員。
- ぐしいく gusiku [名] 城。聖地。
- ぐしいぐしい gusiŋgusi (擬声) さくさく。ざくざく。物を切る音。㊦かたなひー ～しいーちちい (庖丁でざくざく切る)。
- くじいむちいー -kudzimutsi: [名] くず餅。蕎麦の澱粉でつくった餅。
- ぐずー -gusu: [名] 後生。死後の世界。
- ぐすーすがい gusu:sugai [名] 後生支度。死ぬ時の装束。
- ぐすーたひ gusu:tabi [名] あの世への旅。死後の旅。
- ぐすーばな gusu:bana [名] 後生花。仏桑華。おかばなとも言う。
- ぐすーむどっい gusu:mudui [名] 後生戻り。死にかけていた者が生きかえること。
- ぐすみちい gusumitsi [動] 庖丁でさくさく切る。
- くじゃら kudzara [名] 小皿。小さな皿。普通おかずを入れるのに用いる。
- ぐしゃん guʃaŋ [名] 杖。手に持って体を支え、歩く時の助けとなる木の棒。㊦～ぬちいちい (杖をつく)。
- ぐじゅう gudzuu [動] くすぐる。
- ぐじゅぐじゅ gudzugudzu (擬態) 他人の脇の下をくすぐる時に発する語。

くだ kuda [名] 管。

ぐたい gutai [名] 五体。性格。体。体力。

くだきい kudakii [動] (新) 砕ける。三つ以上の破片に分離する。

くたくたー kutakuta: (擬態) ぐうぐう。こんこんと。熟睡しているようす。㊦～ていー
にっぶいー うい (こんこんと眠っている)。

くだちい kudatsi [動] (新) 砕く。こなごなにする。

ぐたっていー gutatti: [副] ぐたっつと、疲れて元気がないさま。㊦だりー ～ひー うい
(疲れてぐたっつとしている)。

くちい kutsi [名] 靴。足をおおうようにした履物。㊦くच्चゅ んん (靴を履く)。

くっくっ kukku? (擬声) 親鶏がえさをあさってひなを呼び寄せる時の声。

ぐっしいんふうじい gussinfudzi [名] 五寸釘。五寸の長さの釘。

くっぴ kuppi [副] これくらい。大きさや数量を表わす。㊦～ とうい (これくらい取れ)。

くとう kutu [名] 事。①抽象的に考えられるもの。世に現れる現象。事情。様子。②文末
に添えて終助詞的に用いる。㊦あいぬ むぬーばー ふん～ (そんなものは為ないこ
と)。

くとう kutu [名] 琴。弦楽器の一種。㊦くとうー ひちい (琴をひく)。

ーくとう -kutu [接尾] ～言。ことばを数る助数詞。ひとつくとう (一言) ふうたくと
う (二言) みくとう (三言) ゆくとう (四言) いちいくとう (五言)。

ぐとうかん gutukan [助動] 如くあり。ごとし。ようだ。ようである。㊦かいが あいぐ
とうふう あっす (彼が言う如く為なさい)。

くとうくとう kutukutu (擬声) ことごと。ぐつぐつ。ものが煮えたぎる時の音。㊦むぬー
～ていー にい (ご飯をぐつぐつと煮る)。

くとうわい kutuwai [動] (新) 断わる。承知しない。拒絶する。㊦むちかきたい はな
っす ～ (持ちかけられた話を断わる)。

ぐどうん gudun [名] 愚鈍。愚図。

くちよー kutjo: [名] 区長。部落長。

くな kuna [名] 粉。粉末。細かく砕けたもの。くーとも言う。

くなしい kunasi [動] ①土などを砕いてやわらかにする。②食物を消化する。㊦ふぁう
むぬー いーぬ ～ (食べ物を胃が消化する)。

ぐなん gunan [名] 五男。五番目の男児。

ぐなんか gunanka [名] 五七日。死んで五週目の法事。死んで七日ごとに法事を行なうこ
とをなんとかと言う。

くに kuni [名] ①国。国家。②領土。

くにい kunii [動] こねる。粉末や土などに水を混ぜてねる。

- くぬ kunu [連体] この。話し手から近い関係にあるものを指して言う語。㊦～むぬー
とぅい(このものを取れ)。
- くぼ kuba (植) 蒲葵。ヤシ科の亜熱帯性常緑喬木。扇の材料にもなる。くばあうじい(蒲
葵の扇)。
- くばい kubai [動] 配る。配布する。分配する。
- くばいむぬ kubaimunu [名] 配りもの。
- くばあうじい kubaudzi [名] 蒲葵扇。蒲葵でつくった扇。
- くばがさ kubagasa [名] 蒲葵笠。蒲葵でできた笠。
- くばじいー kubadzi: [名] つるべ。つるべは昔は蒲葵でつくった。井戸から水を汲むもの。
㊦～ひー みっじゅんん(つるべで水を汲む)。
- くびん kubin [名] 瓶。ガラスなどで作った主に液体を入れる器。
- くびとぅ ku itu [名] 小人。昔話に出て来る背の低い人。
- くぶ kubu [名] 九分。十分の九。
- くぶ kubu [名] 瘤。打ち身などにより筋肉が異常に盛り上がって固くなったもの。㊦～ぬ
いでいい(瘤が出る)。
- くぶ gubu [名] ①五分。②半分。
- くふうー kufu: [名] 工夫。よい方法や結果を得ようと考えをめぐらすこと。またその考
えついた方法。くふうーあしい(工夫する)。
- くぶー gubu: (植) ごぼう。根が土色で細長い形のもの。食用。
- くぶしいみゃ kubusiinja [名] 甲烏賊。
- くぶりー guburi: [名] ご無礼。失礼。
- くふうちい gufutsi [名] 運。運命。天からさずかった人生。㊦くふうっちゅ ちいきい
(運命を定める)。
- くひゃく guçaku [名] 五百。
- くま kuma [名] 独楽。軸を中心にして回転するように作った逆円錐形の玩具。たたきぐ
ま(紐でたたいて回す独楽)。
- くま kuma (動) 熊。深山にすむクマ科の哺乳動物。
- くま kuma [代] ここ。話し手から近い距離を表わす場所代名詞。㊦～んかい くー(こ
こに来い)。
- くま guma (植) (新) 胡麻。種の粒で黒い一年草の植物。
- くまあみ gumaami [名] 細かい雨。小雨。細かく降る雨。
- くまい kumai [動] (新) 困る。物事がうまく行かず、何かに頼りたくなる。
- くまい kumai [動] こもる。どこかの中に入ったまま外に出ない。㊦やーん ～(家にこ
もる)。

- ぐまいしい gumaisi [動] 小石。小さな石。
- ぐまかん gumakan [形] 細かい。小さい。粒などに言う。あらかん（荒い）の対。
- くまぐま kumaguma [副] こまごまと。
- ぐまじいー gumadzi: [名] 細かい字。小さい字。がばーじいー（大きな字）の対。
- ぐましいぐとう gumasigutu [名] こまごまとした仕事。
- ぐまだーう gumada:u [名] こまごまとした道具。
- ぐまだき gumadaki [名] 細かい竹。釣り用になる。
- ぐまでいん gumadiŋ [名] こまかいお金。小銭。
- ぐまびとう gumabitu [名] 小さい人。背の低い人。
- ぐまふうでい gumafudi [名] 細筆。細い筆。
- ぐまむぬ gumamunu [名] 小さいもの。細かいもの。
- くみ kumi [名] ①組。② [接尾] 組み合わせたものを数える助数詞。ひとつくみ（一組）
ふうたくみ（二組） みくみ（三組） ゆくみ（四組）。
- ぐみ gumi [名] ごみ。ほこり。ちり。用が終わっていらなくなったもの。㊦ぐみゅー うぐ
ないい（ごみを集める）。
- くみい kumii [動] こめる。何かの中へすっかり入れる。㊦たまう ～（弾をこめる）。
- くみじいま kumidzima（地）久米島。沖縄本島的那覇市から南西へ約98km 行った所にあ
る島。
- くみたていい kumitatii [動] 組み立てる。
- ぐむ gumu [名] ゴム。ゴムの木の汁から作った物質で弾力がある。
- くむい kumui [動] 曇る。空が雲でおおわれる。
- くむい kumui [名] 曇り。晴れていた空が雲でおおわれること。
- くむいわーちいちい kumuiwa:tsitsi [名] 曇り天気。
- ぐむまーい gumuma:i [名] ゴムまり。ゴム製のまり。
- くや kuja [感] ほら。急に注意を与える時の語。㊦～ みーる（ほら見ろ）
- くやん kujanj [動] くやむ。後悔する。そうしなければよかったと後で思い悩む。
- ぐゆー guju: [名] ご用。
- くゆん kujun [名] 暦。
- くら kura [名] 蔵。家財・貸切などを保管しておく所。
- くらい kurai [名]（新）位。公的な身分の段階。
- くらくら kurakura（擬態）くらくら。目がくらむさま。目まいがする様子。㊦みーぬ ～
ていー あしい（目がくらくらする）。
- ぐらぐら guragura（擬態）ぐらぐら。物が激しく揺れ動いて定まらない様子。
- くらしい kurasi [名]（新）暮し。生活。毎日を過して行くこと。

- くらしい kurasi [動] (新) 暮す。毎日を生きて行く。
- くらしいかた kurasikata [名] 暮らし方。生活。暮す方法。
- くらしいぐりかん kurasigurikan [連語] 暮しにくい。
- くらしいやしいかん kurasijasikan [連語] 暮しやすい。
- くらびい kurabii [動] 比べる。二つ以上のものをつき合わせてその異同を調べる。
- くり kuri (植) 栗。濃い茶色のいがに包まれた実のなる落葉高木。
- くりい kurii [動] お金をくずす。お金をこまかいものに替える。㊦でいんぬ ～ (お金をこまかくする)。
- ぐりかん gurikan [助動] ～にくい。動詞の連用形について～しがたいの意味を表わす。
㊦かちい～ (書きにくい)。
- くる kuru [名] (新) 頃。時分。普通はじいぶん (時分) を用いる。
- ぐる guru [名] 悪い仲間。㊦～ん ない (悪い仲間になる)。
- くろがしい kurugasi [動] 転がす。ころころと回転させて動かす。㊦いっす ～ (石を転がす)。
- くるがい kurugai [動] 転がる。回りながら動き進む。㊦くるまぬ ～ (車が転がる)。
- くるくる kurukuru (擬態) ①くるくる。ものが回るさま。②ころころ。ものが転がるさま。
㊦～ていー いしいぬ くるがい (ころころと石が転がる)。
- ぐるぐる guruguru (擬態) ぐるぐる。丸いものが回るさま。目玉をきよろきよろさせるさま。㊦みー ～ あしい (目をきよろきよろする)。
- くるしい kurusi [動] 殺す。①殴る。㊦かいん くるはいんどー (彼に殴られるぞ)。
②殺す。㊦わーゆ ～ (豚を屠殺する)。くらしいとも言う。
- くるま kuruma [名] 車。①軸を中心に回る仕掛の輪。車輪。②自動車など車輪の回転によって動き進むもの。㊦～ん ぬーい (自動車に乗る)。
- くろー kuro: [名] (新) 苦勞。肉体的・精神的に多くの労力を費やすこと。
- くん kun [動] 組む。①行動を共にする。②交差させて離れないようにする。㊦ていーゆ ～ (手を組む)。
- ーくん -kun [接尾] 込む。何かがある中にある。またそういう状態にする。ちいかいくん (使い込む)。とうまいくん (泊まり込む)。
- くんくんしー kunjunji: [名] 工工四。硫球音楽の曲譜。
- くんきゃ kunja: [名] ハンセン氏病患者。
- くんじい kundzi [動] おんぶする。子供などを背中に乗せて移動する。㊦っぶふう ～ (子供をおぶう)。
- くんじゃう kundzau [名] 根性。①悪い根性。②意地悪。
- くんちい kuntsi [名] ①根気。苦難に耐える気力。②栄養。滋養。くんっちゃ にゃーん

(栄養のない)。

くんちいじゅーかん kuntsidzu:kan [形] 根気強い。

くんちいちい kuntsitsi [名] 今月。

くんちいゆーかん kuntsiju:kan [形] 根気が弱い。

ぐんちよー guntjo: [名] (新) 郡長。

け

げーげー ge:ge: (擬声) げえげえ。食べ物を吐き出す時の音。㊦～ていー むぬー はちい
(げえげえと食べ物を吐く)。

けーんない ke:nnai [連語] きれいなどで体が固くなる。

げっきゅー gekkju: [名] 月給。毎月支払われることになっている給料。

げんのー genno: [名] 金づち。㊦～ひー ふっじゅー うちい (金づちで釘を打つ)。

こ

ーごー -go: [接尾] 合。分量をはかる単位。一升の十分の一。いちごー (一合) にごー
(二合) さんごー (三合) ゆんごー (四合) ぐごー (五合)。

ーごー -go: [接尾] 号。①雑誌などの順番。いちごー (一号) にごー (二号) さんごー
(三号)。②妾の順番。にごー (二号) さんごー (三号)。

こーがーしい ko:ga:sii [名] 菓子的一种。正月やめでたい時に作って供える。

こーこー ko:ko: [名] 孝行。親の言いつけをよく守り、老後にはめんどろをよよく見ること。

ごろごろ gorogoro (擬声) ごろごろ。ごろごろ腹の鳴る音。㊦～ていー ばたぬー ない
(ごろごろと腹が鳴る)。

さ

さー sa: [助] さ。よ。軽く言い放す気持を表わす終助詞。㊦んぬー いじゃうたいー ひとつ
ー かいさー (昨日出会った人は彼よ)。

ざー dza: [名] 座。座敷。座る場所。㊦～ん びい (座に座る)。じゃーとも言う。

さーい sa:i [動] 連れる。同伴する。㊦っふぁう ～ (子供を連れる)。

ざーがい dza:gai [名] 座替。座を替えること。じゃーがいとも言う。

さーるかもーたー sa:rukamo:ta: (昆) かまきり。頭が三角で鎌状の前足を持った昆虫。

さい sai [名] 申。十二支の一つ。

さい sai (動) ぬまえび。

さい sai [名] 古武道に使用する道具。

ざいざい dzaidzai (擬態) じめじめ。水がひたりぬかるんでいる様子。

- さいばん saiban [名] (新) 裁判。罪となるかどうかを法律を用いて定めること。
- ざいばん dzaiban [名] (新) 在番。
- さう sau [名] 竿。竹の幹から枝葉を取り去って着物を干したりするもの。
- さう sau [動] 刺す。庖丁などで刺す。
- さうがちい saugatsi [名] 正月。一年の第一の月。
- さうき sauki [名] かご。竹であんだざる。
- さうき sauki [名] あばら。あばら骨。さうきぶにとも言う。
- さうきぶに saukibuni [名] あばら骨。
- さうじい saudzi [名] 掃除。ごみやほこりを除いてきれいにすること。㊦ さうじゅ あし
い (掃除をする)。
- さうだん saudan [名] 相談。どのようにすればよいか相手に意見を聞くこと。
- さうみ saumi [名] 斜視。さうみみーとも言う。
- さうみみー saumimi: [名] 斜視。
- さうみん saumin [名] そうめん。小麦粉をこねて線状にのばした食べ物。
- さうみんちゃんぶる saumintjampururu [名] そうめんを油でいためた料理。さうみんぶっ
とるとも言う。
- さうみんぶつとる saumimbutturu [名] そうめんを油でいためたもの。
- さかい sakai [名] (新) 境。境界。分かれ目。
- さがい sagai [名] かけ買いをすること。㊦ ～や まうきん (かけ買いは儲けない)。
- さがい sagai [動] かけ買いをする。㊦ しいなむぬー ～ (品物をかけ買いする)。
- さがい sagai [動] 下がる。上から下へ移動地点を目標に移動する。㊦ にちいぬ ～ (熱
が下がる)。
- さかいいi sakaii [動] 栄える。繁栄する。
- さかしい sakasi [動] 裂けるようにする。裂かす。
- さかじいちい sakadzitsi [名] 杯。酒杯。酒を飲むための器。
- さかだちい sakadatsi [名] 逆立ち。両手で体を支え足を上に伸ばして立つこと。
- さかなやー sakanaja: [名] 料亭。遊郭。
- さかま sakama [名] 坂。斜面。
- さかんちい sakantsi [名] 坂道。
- さき saki [名] 酒。米・こうじで醸造した飲料。
- さきい sakii [動] 裂ける。㊦ ちいぬ ～ (着物が裂ける)。
- さきい sagii [動] 下げる。① 掛けてつるす。② 前から後ろへ移す。③ 地位をおとす。
④ 熱や音を低くする。
- さきかしい sakikasi [名] 酒かす。

- さきがみ sakigami [名] 酒甕。酒を入れる甕。
- さきぐら sakigura [名] 酒倉。酒を保管する倉。
- さきじゅーか sakidzu:ka [名] 酒を入れる急須。
- さきじゅーかん sakidzu:kan [形] 酒に強い。
- さきじょーぐ sakidzo:gu [名] 酒上戸。酒のよく飲める人。
- さきだい sakidai [名] 酒代。酒の代金。
- さきだる sakidaru [名] 酒樽。酒を入れる樽。
- さきっさかん sakissakan [形] 酒くさい。酒の匂いのする状態。
- さぎっすい sagissui [名] 下げ薬。下剤。便秘の時などに用いる。
- さきぬみゃ sakinumja [名] 酒飲み。のんだくれ。
- さきぬんどうしい sakinundusi [名] 酒飲み仲間。酒飲み友達。
- さきびん sakibin [名] 酒瓶。酒を入れる瓶。
- さきふあや sakifaja [名] 酒飲み。酔っぱらい。
- さきふうし sakifufi [名] 酒癖。酒に酔った時の癖。㊦～ぬ ばいかん (酒癖が悪い)。
- さぐい sagui [動] 探ぐる。操し求める。相手に知られないように調べる。
- ささい sasai [動] 刺さる。とがったものが何かの表面を突き破って中に入る。㊦んじいぬ ～ (棘が刺さる)。
- さしき safiki [名] (新) 挿し木。草木の枝や茎を地面にさし込んで根を出す方法。
- さしい sasi [名] 錠。錠前。
- さしい sasi [動] 指す。指でそれと示す。傘をさす意味では用いない。
- さしい sasi [動] 注す。㊦ちゃーゆー～(茶を注す)。
- さしい sasi [動] ①差す。㊦かたなう ～ (刀を差す)。②高く持ち上げる。㊦ばーびるー ～ (バーベルを高く持ち上げる)。
- さじい sadzi [名] 手拭い。鉢巻。
- さしいぬっふあ sasinuffa [名] 鍵。錠前に差し込む。
- さた sata [名] 沙汰。うわさ。評判。
- さた sata [名] 砂糖。砂糖黍などから取る甘みのある調味料。
- さだまい sadamai [動] 定まる。決まる。変動の少ない状態になる。
- さだみ sadami [名] 定め。決まり。
- さだみい sadamii [動] 定める。決める。
- さちい satsi [名] ①先。前の部分。先頭。②進んで行く方。③端。末。④それより以前。
㊦～ぬ はなし (それ以前の話)。
- さちい satsi [名] 岬。海上に突き出た陸地の先端。
- さちい satsi [動] 咲く。花が開く。㊦はなぬ ～ (花が咲く)。

- さちい satsi [動] 裂く。一つにまとまっていたものを二つ以上にする。
- さちいとうじい satsitudzi [名] 前妻。さちいどうみとも言う。
- さちいどうみ satsidumi [名] 前妻。先妻。
- さちいぬゆー satsinuju: [名] 先の世。前世。
- さちいばい satsibai [名] 先駆け。
- さちいぶとう satsibutu [名] 先の夫。前夫。
- さちいまーい satsima:i [名] 先回り。㊦～や ひー まちい (先回りして待つ)。
- さっぷーし sappu:ji [名] 冊封使。中国からの使者。
- さとう satu [名] ①里。人家がまとまってある所。生まれ育った所。②女が恋人を親しんでいう語。
- さとうい satui [動] 悟る。自覚する。気がつく。
- さとううや satuuja [名] 里親。里子を預かっている親代りの人。
- さとうしい satusi [動] 諭す。教えて事の理非をよく分かるようにする。㊦っふぁう
～ (子供を諭す)。
- さとうぬしい satunusi [名] (文) 里主。恋人。女から親しい男を言う。
- さな sana [名] 傘。雨の時に差して雨に濡れないようにするもの。㊦～う かう (傘を差す)。
- さなか sanaka [名] さ中。まっさいちゅう。
- さなじい sanadzi [名] ふんどし。男子の陰部をおおう細長い布。㊦さなっじゅ ちいい
(ふんどしを着る)。
- さに sani [名] 種。生長すると親の植物と同じになる小さい粒。動物の子を生む基の精子も指す。たにとも言う。
- さにうるしい saniurusu [名] 種おろし。播種。
- さにちい sanitsi [名] 旧三月三日。浜に降りて遊ぶ行事を言う。
- さにむぬ sanimunu [名] 種物。草木の種。
- さにん saniq [名] 月桃。葉は餅などを包むのに用いる。
- さにんま sanimma [名] 種馬。よい品種をつくるための種付け馬。
- さにんまやー sanimmaja: [名] 屋号の一つ。種付けのための馬を持っていた家。
- さば saba (魚) 鱧。
- さば saba [名] 草履。わらなどを編んで作った齒のない履物。
- さばーしい sapa:si [動] おだてる。何かをやらせる魂胆があってほめたてる。
- さばちい sabatsi [動] ①捌く。取り扱う。②裁く。
- さばちい sabatsi [名] ①捌き。②裁き。
- さばに sabani [名] 刳舟。くりぶね。

さび *sabi* [名] 錆。金属が痛み赤茶色や青白色に変色してもろくなったもの。㊦～ぬ う
いい (錆が生える)。

さびい *sabii* [動] 錆びる。錆が生じる。

さびしい *sabisikan* [形] 寂しい。心細い。心の通い合いがなく満足できない状態。

㊦っふぁぬ にゃーだ ～ (子供がなくて寂しい)。

さびちいち *sabitsitsi* [動] 錆び付く。すっかり錆がつく。

さぶん *sapun* [名] シャボン。石けん。よごれを落とすための水に溶けやすい物質。

ーさま *-sama* [接尾] さま。しさま。やり方。あしいさま (やり方) とぅいさま (取り
方)。

さまい *samai* [名] ①熱が冷めること。㊦にちいぬ ～ (熱が下がる)。②病気がよくな
って平静になること。

さまい *samai* [動] ①熱が冷める。②病気がよくなって平静になる。

さましい *samasi* [動] 冷ます。冷やす。

さまらしい *samarasi* [動] 冷ます。冷やす。㊦んっすーゆ ～ (お汁を冷ます)。

さまりい *samarii* [動] ①冷める。② (酔いが) 醒める。

さみ *sami* [名] 鮫肌。鮫肌のようになるできもの。

さや *saja* [名] 鞘。刀身を保護するためのもの。

さやふう *sajafu* [名] 大工。木造の建築・修理をする人。またその仕事。

さやふうだーう *sajafuda:u* [名] 大工道具。

さやふうにんじゅ *sajafunindzu* [名] 大工人衆。大工の人々。

さやふうやー *sajafuja:* [名] 大工屋。大工を稼業とする家。

さら *sara* [名] 皿。食物を盛る浅く平たい器。㊦～んかい むい (皿に盛る)。

さらう *sarau* [動] さらう。①たまっているごみを取り除く。②横合いなどから急に奪う。

㊦っふぁう ～ (子供をさらう)。

さらさら *sarasara* (擬態) さらさら。湿りけや粘りがなくよく乾いた様子。

ざらざら *dzaradzara* (擬態) ざらざら。触れた感じがなめらかでない様子。

さらしい *sarasī* [動] ①外に出して日に当たるようにする。②布を乾かす。

ざらみ *dzarami* [名] 白砂糖。結晶のあらい砂糖。㊦ざらみゅー なん (白砂糖をなめる)。

さらみちい *saramitsī* [動] さらさらと動く。

さりい *sarii* [動] 乾燥する。乾く。㊦ちいんぬ ～ (着物が乾く)。

さりきー *sariki:* [名] 枯れた木。生命を失った木。あうきーの対。

さる *saru* [名] 猿。人間に似た哺乳動物。

さるか *saruka* (植) 植物の一種。その実は豆鉄砲のたまにする。

さるまた *sarumata* [名] パンツ。ズボンなどの下から着る下着。

さん saŋ [名] 三。いち（一） に一（二） さん（三） と数える時に用いられる。さんご一（三合） さんかい（三階）。

さん saŋ [名] 結繩。わらや蘇鉄の葉で計算用につくったもの。

さん saŋ [名] かやなどを結んで食物などにさす魔よけ。

saŋ [名] 棧。①戸や障子の骨。②戸締りのためにわたす横棒。③板のそりを防ぐためにわたす横木。

ざん dzaŋ（魚）人魚。儒艮。

さんかく saŋkaku [名] 三角。三角形。

さんがちい saŋgatsi [名] ①三月。②三ヶ月。

さんがまちい saŋgamatsi [名] ①細い角材。②戸・障子などの周囲のわく。

さんざん sandzaŋ [副] さんざん。めちやくちゃに。㊦～ やらいー にゃーん（さんざんやられてしまった）。

さんしん saŋŋiŋ [名] 三味線。民謡などの伴奏につかう三本線の弦楽器。㊦～ぬ ひちい（三味線をひく）。

さんじいんふうじい sandziŋfudzi [名] 三寸釘。

さんなん sannan [名] 三男。同胞の中で三番目の男の子。

さんば samba [名] 産婦。助産婦。出産を助け、妊婦・産児の看護や保健指導をする婦人。

さんばんじゃー sambandza: [名] 三番座。三番目の座敷。

さんばんどうい sambandui [名] 暁を告げて鳴く三番目の鶏。

さんみん sammiŋ [名] ①計算。勘定。②予想。

さんみんちっちゃ sammintŋittja [名] 計算を間違える者。見当違いをする者。予想がはずれる者。

さんみんばっばい sammimbappai [名] 計算違い。

じゃー dza:（地）西原集落の中央にある広場。みゃーくじいちい（七月祭り）をとり行なう場所。じゃーんがとも言う。

じゃーか ja:ka [名] 早朝。朝早い時。しいとうむていじゃーか（早朝）とも言う。

じゃーじゃー dza:dza:（擬声）じゃーじゃー。小便をする時の音。

じゃーじゃー ja:ja:（擬態）でしゃばる様子。

じゃーぱい ja:pai [動] でしゃばる。

じゃうかん dzaukaŋ [形] よい。正しい。正当である。善である。㊦くちょーんなかいがどぅ じゃうかい（区長には彼がよい）。

じゃうぎかん dzaugikaŋ [形] 容姿が美しい。㊦かぬ みどろんな ～（あの女は容姿が美しい）。

じゃうじいかん dzaudzikaŋ [形] 上手である。㊦かりゃー さかだちいぬ どぅ ～

(彼は逆立ちが上手だ)。

じゃか dzaka (動) もぐら。食虫目の動物。全身灰褐色で頭は尖り尾は短い。

しゃく jaku [名] 尺。長さの単位。一メートルの三三分の十。

しゃしん šafiq [名] (新) 写真。ありのままを写しとった像。㊦ ～ぬ とぅい (写真を撮る)。

しゃくとういむしい šakutuimusī (昆) 尺取虫。虫の一種。

しゃちい šatsī [名] (新) シャツ。西洋風の肌着。㊦ しゃっちゅ ちいい (シャツを着る)。

しゃりかん šarikaŋ [形] おしゃれである。みなりを飾る様子。㊦ みどぅんな ～ (女性はおしゃれっばい)。

しゃりびとう šaribitu [名] おしゃれな人。よくみなりを飾る人。